171-0014東京都豊島区池袋４－１７－１０　土屋ビル４Ｆ

AA 日本ニューズレター No.114

ありがとうございました
ＡＡ３０周年記念集会ｉｎ福岡

常任理事会　議長　　高橋k

９月２日（金）～４日（日）ＡＡ３０周年記念集会が、福岡国際会議場で開催されました。お天気に恵まれた素晴らしい３日間でした。南は沖縄、北は北海道から集まった全国のＡＡメンバー、そして各地域の医療、行政等関係者が、外国からはアメリカ・カナダ常任理事会の全州選出常任理事、ＧＳＯ（国際担当スタッフ)、アメリカ･カナダ評議会の元評議員、韓国、モンゴル、その他の国々からも参加され国際色豊かな、フェローシップの場となりました。

受付場所で参加者を歓迎する、着物姿の実行委員会女性メンバーたちの素敵な笑顔が印象的でした。受付フロアは各所から集まってきたメンバーたちの再会を喜び合う光景、新しいメンバーを紹介し合い、これから一緒に歩いて行く勇気と希望が分かち合われていました。それぞれの笑顔が目を見張るほどの明るさのなかできらきらと輝いていました。

一日目のセレモニーは、和太鼓の力強い音色が、高く、低く会場一杯に鳴り響く中、三日間の幕開けとなりました。１００００席の会場は、ほぼ満席に近く埋め尽くされ、固唾をのんで見守る中、太鼓の囃子を背に、獅子舞が舞台一杯に飛び跳ね、客席にも降り立って舞う姿は壮観でした。

3日間に渡る集会の中で、幾つもの感動した場面がありました。その一つはフラッグ行進でした。特にアメリカの元評議員が自国の星条旗を掲げての堂々たる行進は印象的で少々圧倒されてしまいました。また、日本の都道府県の記されたプラカードを各メンバーが持ち、舞台の袖から中央に進み左に折れて舞台から下りるこの僅かな時間の行進でしたが、それぞれのメンバーの晴れやかな表情、緊張した表情でプラカードを高く上げる姿、元気一杯の姿は大変に感動的でした。アメリカ・カナダのインターナショナル　コンベンションに遜色ない程であり、実行委員会の素晴らしいアイディアと知恵と苦労が実った場面でありました。メンバーのソーバーカウントダウンは新しいメンバーへの会場が割れんばかりの盛大な拍手の中で行われた素晴らしい光景でした。１０年以上の仲間が数多くいることに日本のＡＡの成長を感じました。２０年以上のオールドタイマーたちの経験の分かち合いは、それぞれ短いお話ではありましたが、心に響くものがあり感動を与え、明日への希望を与えてくれたものと思います。

二日目は早朝から受付フロアにぞくぞくと、参加メンバーが押し寄せてくるという感じを受けました。30周年の記念集会にふさわしいＡＡの一体性を強く感じられる集まりになったことと、主催の常任理事会メンバー、そして実行委員会メンバー共々この上も無いほど喜びを感じていました。午前中は各種ミーティングあり、それぞれの飲まない生き方の経験の分かち合いがありました。午後は、２０年以上のオールドタイマーたちのスピーカーズミーティングで始まり、続いて国際シンポジウム「アジアの文化におけるAAの経験と可能性」が行われました。壇上には、現、元Ａ類常任理事、ＷＳＭ.ＡＯＳＭ評議員、アメリカ・カナダＧＳＯスタッフ、常任理事、韓国、モンゴルのメンバーが並びました。テーマに沿った各国の分かち合いや報告に会場からの質問なども加わりました。最後は時間を心配する司会者の苦労が伺われるような場面もあり、会場の出席者との一体性が感じられ、とても良い経験の分かち合いが行われたと思います。夕食会は出席者の旺盛な食欲に主催者側では、びっくり仰天というところですが、楽しいひと時でした。ご馳走が食べられなかった皆さまには心からお詫び申し上げるとともにお赦しいただきたいと思っています。続いて３０年の歴史を踏まえ(いろいろあったけど)、メンバーの熱愛のこもった素敵なスピーチがありました。最後のアトラクションでは、演奏者たちのプロ顔負けの演奏に、ダンスを楽しむ仲間や演奏に聞き入る仲間のきらきらした目が感動的でした。クロージングミーティングのスピーカーの話は韓国語に逐次通訳されました。最後は参加者全員が壇上にあがっての一言メッセージ、壇の両側から交互に上がる列が延々と並び、それぞれのメンバーの心は感動で言葉には言い合わされないものがたくさんあったのではと私は感じさせてもらいました。みんなで手をつなぎあい、会場から壇上へと波のうねりのように輪になり、平安の祈りで締めくくりましたが、これほど感動を与えてくれた場面は今までなかったと思われます。終わった瞬間に感極まって抱き合う姿もあり、涙するメンバーもあり、すばらしいの一言でした。

私たちがアルコール依存症から回復して社会の一員として飲まないで生きていく姿をより多くの人たちに知っていただけるよう、これからも楽しい記念集会を続けていかなければならないと思います。

（看板と会場は別に撮影したものです）

AA日本３０周年記念集会担当理事より

理事会議長のあいさつにもありましたように、この記念集会が成功に終わったことについて、関係者の皆様、そして国内・海外多くのＡＡメンバーの皆様に感謝いたします。

参加チケットの販売は、前売り(５月以前)で８６３枚、６月以降当日までは２８１枚、計1,１４４枚でした。またディナー券は４９０枚の売り上げがありました。これらの収入によって、集会開催にかかった経費のほとんどをまかなうことができ、収支バランスは黒字となりました。また当日の会場献金は３０万円を超えました。ありがとうございました。詳しい収支報告書はＪＳＯからの情報送付時に改めて添付いたします。

アメリカ・カナダや韓国、モンゴルのメンバーとの分かち合いも実現できましたし、これをまた次に生かしてサービス活動を続けていきたいと考えています。

企画担当常任理事　森田

～関東甲信越地域における矯正施設メッセージのあゆみ～

ＡＡ関東甲信越地域では、２０００年７月に「矯正施設メッセージを考える会」という集まりが関東甲信越地域広報委員会の呼びかけで初めて催されました。

この時期はＡＡに対する矯正施設関係者の理解が深まり、職員の研修などといった関東甲信越エリアにおける施設側の組織的な動きもあり、広くＡＡを受け入れようという動きが急速に進み始めている状況でした。

具体的な例としては、府中刑務所では女性メンバーのメッセージが認められ、前橋刑務所では施設側のプログラムの計画段階から群馬県精神保健福祉センター経由でＡＡメンバーの参画を依頼してくるなどというようなものです。

そうしたことからＡＡ側としては、セントラルオフィス所長だけの対応では限界があるという課題が表面化してきている時期でもありました。

そこで、ＡＡ関東甲信越地域の矯正施設に対するメッセージは、「地域委員会で『地域の問題』として取り組むこと。」「実際にどのような受け皿を作って企画・運営（予算付けも含む）をしていくかを考える。」という２点を検討して行く集まりとして、矯正施設メッセージを考える会が催されることとなったのです。

当時地区のメッセージ委員をしていた私は、仲間に誘われるまま興味本位で会場に顔を出したのが始まりでした。

それまでサービスといえばメッセージ委員会の活動のみで、その他のことは何も経験がなく、矯正施設メッセージを考える会の中で話し合われていた内容も半分以上は「ずいぶんと難しいことを話し合っているなぁ」という印象しか持ちませんでした。

それまでの私のサービスに対する認識に照らし合わせれば、「こんなものか」と終わるはずだったのが、何かに引っ張られるように翌８月に続けて開催された２回目の集まりにも参加し、１０月に立ち上げた「矯正施設（メッセージ）交流会事務局」で、書記のお手伝いをすることになりました。

「矯正施設（メッセージ）交流会」は、翌年地域委員会議長団付きの小委員会から矯正施設委員会となり、地域委員会の中に活動の拠点を与えられ、現在に至っています。

その間、矯正施設では、市原刑務所（千葉県）へ、更生保護施設では帰性会（千葉県）・自立会（神奈川県）へのメッセージが、新たに始まりました。

しかし、ここまで決して順調に運ばれたわけではありません。

矯正施設からの情報が不足していたり、一つの矯正施設からの不確かな情報を拡大解釈してしまいメンバーの中に混乱を招いたりと、幾多の不都合もありました。

これらのことを踏まえて、

- **ＡＡメンバーに矯正施設メッセージを理解してもらうための広報活動**
- **関係機関への広報活動**
- **メッセージに参加したメンバーから他のメンバーへ情報を伝える**

以上の３点を柱にして、主に矯正施設委員会は活動をしています。

実際にそれを形に現すものとして、「矯正施設パブリック・ミーティング」があります。これは、矯正施設及び更生保護施設関係者の方々にＡＡを理解していただくことを主な目的として、ＡＡメッセージを運ぶ中で留意すべき点や、関係者の方々とＡＡメンバーとの協力関係を築いていくための課題をお互いに探っていく目的で、２００１年７月に横浜で第１回が開催されました。

続いて２００３年７月に東京・小金井、２００４年８月には千葉、そして今年７月３１日埼玉において、計４回のパブリック・ミーティングを行なってきています。

年々充実した集いになってきましたが、今年は開始時刻の１０時には会場が満席となる状態で、約１３０名もの方々に参加していただきました。

特に、矯正施設・更生保護施設・保護観察所・保護司会・医療機関棟の関係者や、法務省本省および遠隔地の更生保護施設関係者、また大学や専門学校の学生など６０名以上の外部の方々の参加があり、穏やかで柔らかい雰囲気の中、とても有意義な分かち合いが行われました。

今年に入り、関東甲信越地域では黒羽刑務所（栃木県）へのメッセージが始まり、東北地域では宮城刑務所（宮城県）へのメッセージが、また関西地域では加古川刑務所（兵庫県）、中部北陸地域では名古屋刑務所（愛知県）でもＡＡメッセージが始まりました。

今後矯正施設へのメッセージの要請が、急速に、全国レベルに拡がっていくことが予想されます。

こうしたメッセージ要請があった際の各地区・地域での対応、法務省をはじめとする各省庁への対応など、考えて行かなくてはならないことはたくさん有るように思います。

段々と地域間の分かち合いや協力などが行なわれていくようになったら、とても素晴らしいものだと思いますし、関東甲信越地域矯正施設委員会ではその必要性も感じ始めています。

なにはともあれ、是非全国の矯正施設メッセージに関わっている仲間の分かち合いの場が作られたら…そのように強く願っています。

関東甲信越地域・矯正施設委員会
チェアパーソン：水谷

ＡＡの愛とサービスの輪

～中四国～
「サービス経験と私の回復」

今回は、サービス経験を振り返るチャンスを与えてくださったことに感謝します。

「１２のステップと１２の伝統」の中の「‥神様、私を平和の道具としてお使いください‥‥自分を捨てて死に永遠の命をいただくのですから‥‥」（アッシジのフランシスコの平和の祈り）という祈りに触れるたびに私は、ＡＡの先人たちが私たちに伝えようとしていることの途方もない深さと厳しさを感じずにはおれません。

そしてまた、ハンドブックの中にはこのプログラムを徹底して行って回復しなかった人を私は知らないともあります。

ある他地域の仲間が昨年広島で開催されたＡＡ日本広報＆病院施設フォーラムの中で「ＡＡの中には生きていく道具がみんなそろっているよ！」と幸せに満ちた表情で言って下さいました。

私は、ＡＡにつながって丸６年になりますが、先行く仲間たちがたくさんの思いやりとともに多くのサービス経験を与えてくださいました。ミーティング場のコーヒー準備から・代議員・メッセンジャーとしての役割・広島地区のイベントの食事係・地域委員長等々‥‥いつもそこには仲間たちの思いやりがあふれていました。

一度は自分の傲慢さから、ＡＡからもそしてサービスからも離れ、生きていく気力も自信もなかった私が、悪戦苦闘しながらＡＡのサービスを毎日積み重ねていく中で、お役に立てる喜びを感じられるようになりました。それはいつも「無償であるからこそ　意味がある。」と思います。まさに、「生きている、生きていきたい。」　という実感やこんな自己中な私が「まだ見ぬ仲間にＡＡを知ってほしい。」「新しい仲間に助かってほしい。」という思いがもてるようになりました。このことこそ「金で買えない贈り物」です。また「無尽蔵の金脈を掘り当てた」とあるように、失敗に失敗を重ねそれでも続けていけばいくほど、ＡＡメンバーとしての道は味わい深くなっていくように感じています。

今は心から、こんなわがままで、自分勝手・短気な私を忍耐強くサービスの道に導き続けてくださっているスポンサーに心から感謝するとともに、何度も私を許し、そして受け入れ　ともに歩んでくれている仲間に「有難う。これからもどうかよろしく！」を言いたいです。

そして、仲間たちに「一緒にやっていこうよ！」と言いたいです。

有難うございました。　　広島　微笑みグループ　まつ

「愛とサービスの輪」

愚痴から書き始めます。岡山にＡＡメッセージが届いたのは、約２０年前です。しかし、地元で回復したメンバーの実績がほとんど無いため、病院・アル中仲間からも信用がなく現在も自助Ｇとしての存在感はあまりありません。

私が初めてミーティングに参加したのは約３年前です。そこでも「アノニマス」の匿名性ばかりが前面に出ていて、毎週月曜日に顔合わせ、ミーティング前の世間話もなく、大変「冷たい雰囲気のミーティング場」だったと思います。病院メッセージも広島のメンバーを中心に行われており、私もメンバーになったと同時に「病院メッセージ要員」にならざるを得ない状態でした。しかし、その様な状態が逆に幸いして自分自身が積極的にサービス活動を行うバネになったと思います。

さて、本題に入りましょう。私にとって

「ＡＡの愛とサービスの輪」を感じたのは関西地域のイベントやミーティングに参加してからです。様々な事柄やサービスの役割がＡＡの中で述べ伝えられている様子を見て大変羨ましく思いました。当然、メンバー数が多いという事で物事が前進しにくいという問題はあると思いますが、岡山では「グループの良心」がそのまま「数名のメンバーの良心」なので、ビジネスミーティングでも金銭面の確認程度で終了します。

昔、サラリーマン時代の比喩話で「靴を履く習慣の無い地域」へ行った二人のセールスマンがまったく違ったレポートを本社に送ったという話があります。一人は「この地域は靴を履く習慣が無いので商売になりません。」、もう一人は「この地域は靴を履く習慣がないので大きな商売ができます。」というものです。つまり、ひとつの事象でも否定的にとらえるか、肯定的にとらえるかで大きな違いがあるという教訓を含んだものですが、ズバリ、ＡＡでは後者の考え方だと思います。

地元岡山では広島の仲間の手助けで細々と「愛とサービスの輪」が伝わっていました。が、やっと、現地のメンバーでＡＡを伝えていく事ができる様になりました。今の状態を次にやって来る仲間に伝える事こそが、「私の責任」だと思います。　　岡山　倉敷グループ　岡田

速　報

第6回AA日本サービス･フォーラムの準備が中四国の仲間の尽力により下記のように決まりつつあります。

日時:H18年3月3日(金)15:00～3月5日(日)11:30

場所:山口県セミナーパーク(山口市秋穂二島1062)

参加費:1000円 宿泊:一泊につき1500円(食事は各自で)

３月３日（金）
15:00～17:00　全体会議1　JSO、常任理事会担当
19:00～21:30　全体会議2　フリートーキング

３月４日（土）
9:30～12:00　全体会議3　JSO、常任理事会担当
13:00～15:00　分科会A
15:30～17:30　分科会B
19:00～21:00　分科会C

３月５日（日）
9:00～11:30　全体会議4
分科会報告、質疑応答、総まとめ

出版物の頒布価格の一部変更のお知らせ
<<消費税の課税に伴う変更>>
常任理事会財務委員会

各グループ・メンバーの皆様

既にご存じの方もいらっしゃることと思いますが、２００６年１月よりＪＳＯの業務が消費税の課税対象になることに伴い、今年２月に開催されました第１０回評議会の決定に従

い出版物の頒布価格を一部変更いたします。

２００６年からの課税になったのは２００４年にＮＰＯ法人として認証されたため1年ずれ込み来年からの納付となったためです。決してズルをして納税をごまかしたわけではありません。法人としての前年度実績がなく、また「見なし法人」でもなくなったためです。

これらを踏まえ、献金の全収入にしめる割合が漸減しているＪＳＯの財務状況を鑑み､評議会で慎重に審議いただいた結果､出版物の全てに５%の頒布価格の引き上げをするのは好ましくない、との常任理事会の方針を承認していただきました。よって下記の通り頒布価格を改定いたします。記載のないものについては従来のままです。

メンバーの皆様に少なからずご負担をいただくことになることは重々承知しておりますが、皆様のご協力をお願いしたくよろしくお願い申し上げます。また、本年になってからの献金が激減しておりますが、皆様へのサービスの低下にならないよう併せて献金もよろしくお願い申し上げます。

記

JS0にて出版している書籍の内、下記の書籍を現行の頒布価格（左）をそれぞれ５%引き上げ、右の価格に変更します。

「ビックブック」(ハードカバー版)	3,000円	→	3,150円
「ビックブック」(ポケット版)	1,800円	→	1,890円
「ビックブック」(文庫版)	800円	→	840円
「ビックブック」(テープ)	2,000円	→	2,100円
「AA成年に達する」(ハードカバー版)	3,500円	→	3,675円
「AA成年に達する」(ソフトカバー版)	2,800円	→	2,940円
「12&12」	1,800円	→	1,890円
「今日を新たに」	1,800円	→	1,890円
「信じるようになった」	2,000円	→	2,100円
「ビルはこう思う」	1,500円	→	1,575円
「どうやって飲まないで生きるか」	700円	→	735円
「回復の道」(Ⅰ)	1,000円	→	1,050円
「回復の道」(Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ)	1,200円	→	1,260円

「ドクター・ボブと素敵な仲間たち」は年末に出版発行がずれ込んでいるため別途考慮し、おってご連絡いたします。

消費税法の改正に伴い総額表示が義務づけられましたので「出版カタログ」の最新版を２００６年１月に改訂する予定です。無料ですので新年より現在のものではなく、新しいものをご使用ください。

ワールドサービスミーティング評議員の選考について

2006～2009年の任期でワールドサービスミーティングに2回、アジア･オセアニアサービスミーティングに2回参加するＷＳＭ評議員をＡＡ日本常任理事会が選考し、評議会に推薦、承認を受けることになっています。

ＡＡ日本常任理事会は広く、この人選について行いたいと考えています。

ＷＳＭ評議員の資格として以下の要件が提案されています。（サービスマニュアルより）

- リーダーシップの資質
- サービスに対する真剣な関心
- 組織づくりの能力
- ＡＡに対する知識と愛
- ワールドサービスミーティング、アジア･オセアニアサービスミーティングへ出席する時間
- 自国やその地域帯のＡＡの事情に十分に通じている
- ミーティングで決議されたことをメンバー､グループに報告し、実行する時間的な余裕

日本ではゼネラルサービス（評議会）の経験があった方が良いとされています。

自薦、他薦を問いませんのでＪＳＯへお知らせください。

ＪSO職員の募集（ＡＡメンバーに限ります）

ＪＳＯ業務の増加への対応と充実を図るため職員を募集いたします。

メンバー、グループへのサービスを様々な分野で展開していますが、日常業務及び出版、国際関連業務への対応を充実し、ＡＡのサービスを更に広げて行きたいと考えています。

応募資格

- ソーバー（目安として）７年以上
- 一般の社会的な雇用関係（３年以上の継続した）の経験を有する
- 日常の英会話能力、ＡＡ関連文献の翻訳経験を有する
- ＪＳＯへの通勤が可能

詳細はＪＳＯまでお問合せください

モンゴルコンベンションの案内

モンゴルでの第2回ナショナルコンベンションがモンゴルの首都ウランバートル市から６０kmにあるテレルジ国立公園で、２００６年8月11日から13日まで開催されます。宿泊は開催委員会が参加者用のゲル（モンゴル式テント）を用意いたします。宿泊費は一人あたり一日3食込みで８５ドルです。ゲルは2－3人向けと2－4人向けのものがあり、参加者はどちらかを選択していただきます。

コンベンションの参加希望者は。8月10日の10時－16時の間にモンゴルＧＳＯで参加登録をしていただいた後、17時にテレルジ国立公園に向けて出発します。

参加者は２００６年8月10、11、12日の3日間コンベンションに参加した後、13日の17時にウランバートル市に戻ります。8月10日以前およびに13、14、15日にウランバートル市内に宿泊を希望される方は、ウェブサイトを参考に宿泊施設の予約を行ってください。

国際協力委員会で来年のモンゴルツアー企画を考えています、お問合せはＪSOまでご遠慮なくお知らせください。

ＡＡ日本ニューズレターＮｏ．１１４
編集・発行：ＮＰＯ法人　ＡＡ日本ゼネラルサービス（ＪＳＯ）〒171-0014東京都豊島区池袋4-17-10土屋ビル４Ｆ
TEL:03-3590-5377　FAX:03-3590-5419 ホームページ：http://www.aajapan.org